



# 2023年3月期第3四半期 決算補足資料

2023年2月8日

株式会社ウィルグループ (東証プライム市場 6089)

## 目次

I. 当社連結子会社における過年度の決算訂正について

II. 2023年3月期第3四半期 実績

III. 2023年3月期通期業績予想、配当予想

# I .当社連結子会社における過年度の 決算訂正について

# 当社連結子会社における過年度の決算訂正について

2023年1月20日公表の「当社連結子会社フォースタートアップス株式会社における過年度の決算訂正に対する当社対応のお知らせ」に記載の通り、フォースタートアップス株式会社において、他社が運営する人材データベースについて、誤った認識で利用を行っていたことから、過年度からの手数料の支払い漏れ（売上原価の計上漏れ）が判明しました。

株主・投資家の皆様をはじめ取引先及び関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

本件による連結業績への影響は、金額的及び質的重要性の観点から軽微な範囲であると判断し、当社においては過年度の決算の訂正は行わず、支払い漏れの手数料及び違約金（約4億円）を、2023年3月期第3四半期で販売費及び一般管理費に計上しています。

本件を重く受け止め、フォースタートアップス株式会社において再発防止策を決定し、今後再発防止策の十分性や実効性について引き続き検証を行ってまいります。当社としても、再発防止策の実行状況について、定期的にモニタリングしています。

再発防止策を着実に実行し、株主・投資家の皆様をはじめ、市場関係者及び取引先の皆様からの信頼回復に努める所存ですので、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年1月20日公表 [「当社連結子会社フォースタートアップス株式会社における過年度の決算訂正に対する当社対応のお知らせ」](#)

# 当社連結子会社における過年度の決算訂正について

## ■再発防止策

- (1) リスク評価会の定期的な開催
- (2) 各運営会社の利用ルールの周知徹底を図るための教育体制の再整備
- (3) 各運営会社とのコミュニケーションを行う専門チームの組成
- (4) 追加的な管理システム導入を含めた適切な管理体制の整備

## ■他の連結子会社における社内調査の結果

フォースタートアップス株式会社以外の国内連結子会社及び海外連結子会社（以下「その他の子会社」という。）においても、人材紹介ビジネスを行っているため、同様の事案が発生していないか、社内調査を実施しました。調査の結果、その他の子会社において、同様の事案は発生しておらず、業務プロセスにおいても対策が講じられていることを確認しました。

## II .2023年3月期第3四半期 実績

# 2023年3月期第3四半期累計 連結実績

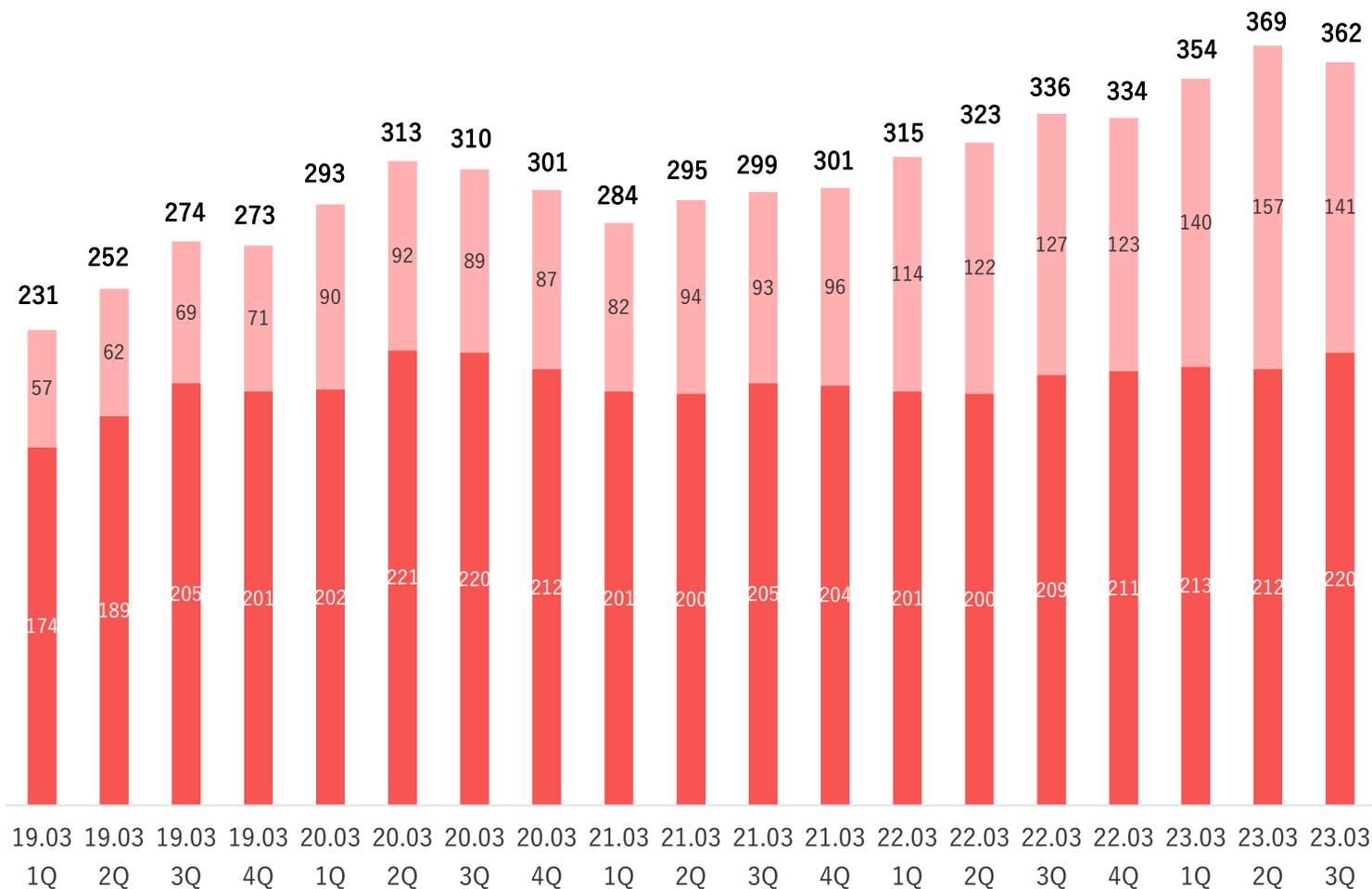
売上収益、売上総利益は2桁成長であるものの、  
連結子会社の過年度決算訂正影響(販管費 + 4 億円)により、減益。

(億円)	前年同期 実績	実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上収益	976.0	<b>1,086.1</b>	+110.0	+11.3%
売上総利益 (売上総利益率)	212.9 (21.8%)	<b>241.6</b> <b>(22.2%)</b>	+28.6 (+0.4pt)	+13.5%
販管費 (販管費比率)	172.6 (17.7%)	<b>205.1</b> <b>(18.9%)</b>	32.5 (+1.2pt)	+18.8%
営業利益 (営業利益率)	41.6 (4.3%)	<b>38.6</b> <b>(3.6%)</b>	△3.0 (△0.7pt)	△7.3%
税引前利益	41.9	<b>37.4</b>	△4.5	△10.8%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	26.2	<b>22.7</b>	△3.4	△13.3%
EBITDA (営業利益 + 減価償却費及び償却費)	56.4	<b>54.2</b>	△2.2	△4.0%

従業員数：6,271人  
(前年度末比：+908人)

# 連結売上収益の四半期推移

(億円)



3Qは、  
23.3期2Q比：△7億円

(うち為替影響：+0億円)

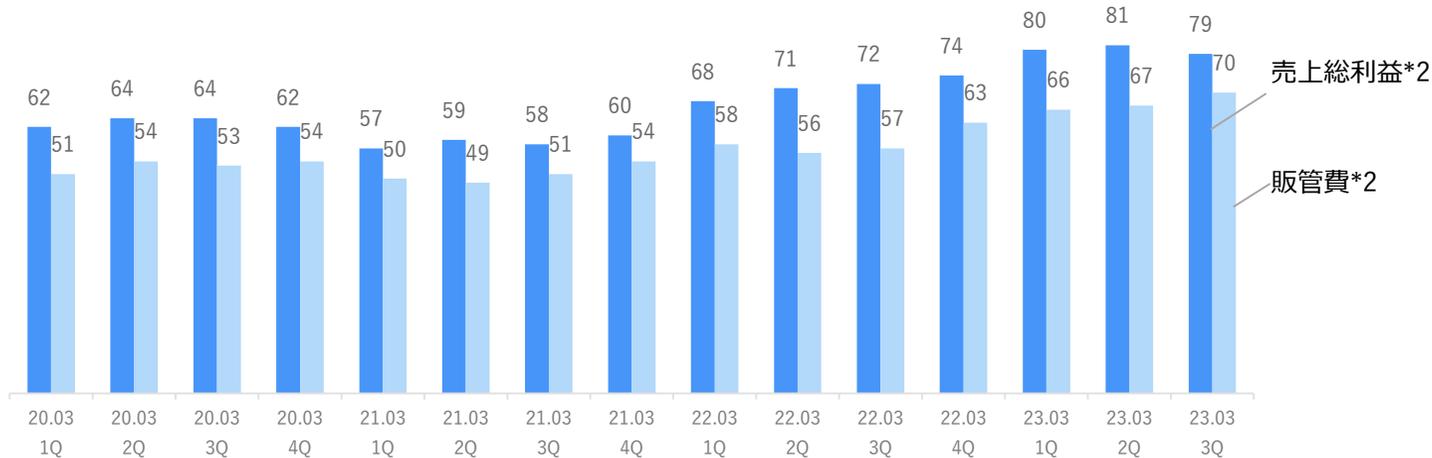
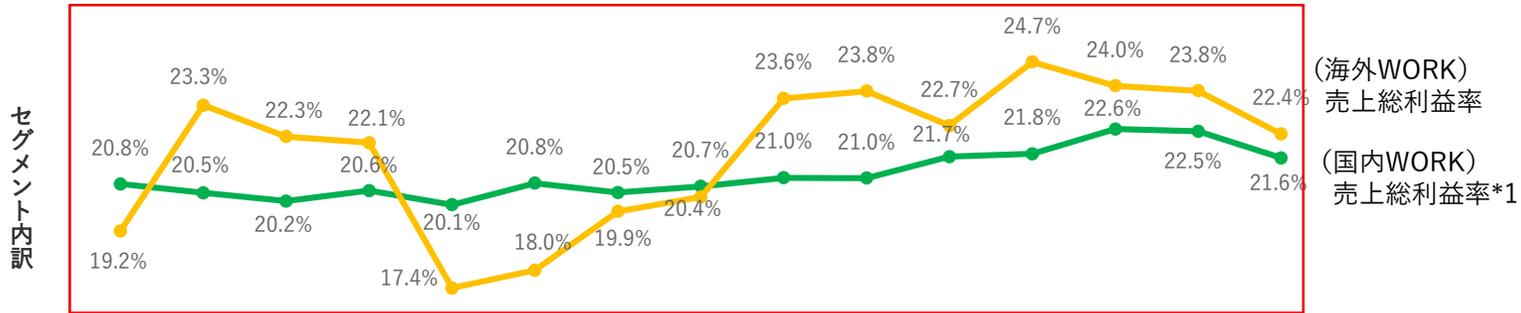
海外

国内は、23.3期2Q比で増加。  
海外は、ポストコロナの急激な人材紹介需要が3Qで一巡。

国内

※売上収益は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

# 売上総利益率の四半期推移



海外WORK事業の人材紹介売上減少により、連結売上総利益率は低下。

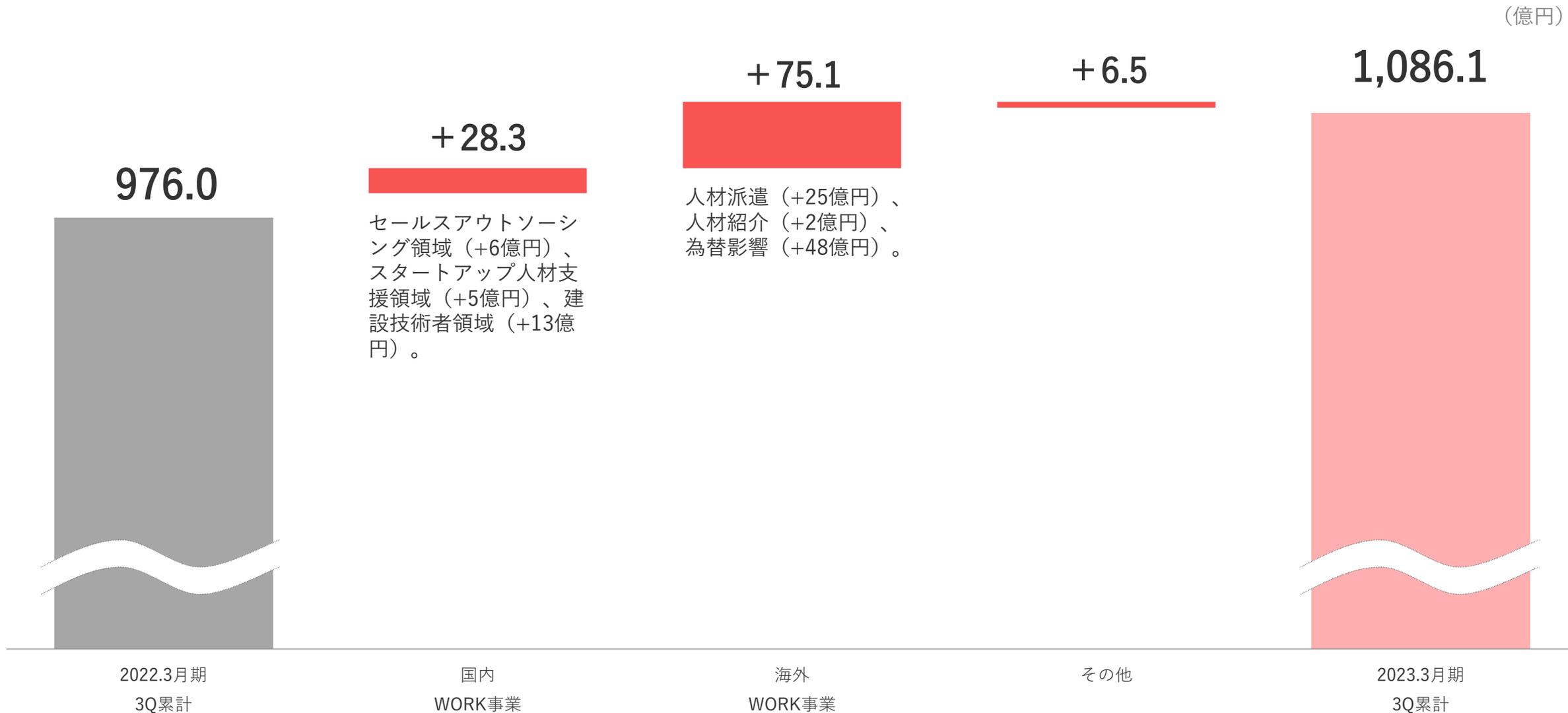
戦略投資領域（建設、スタートアップ、介護）の先行投資は、  
 3Q累計計画：10.4億円  
 3Q累計実績：7.1億円 (△3.3億円)  
 未消化分は、繰越しなし。

\*1 セグメント内の連結調整は含んでいません。また、20.03期は従来の会計方針での数値です。

\*2 売上総利益、販管費は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

# 2023年3月期 3Q累計 売上収益 前年同期増減内訳

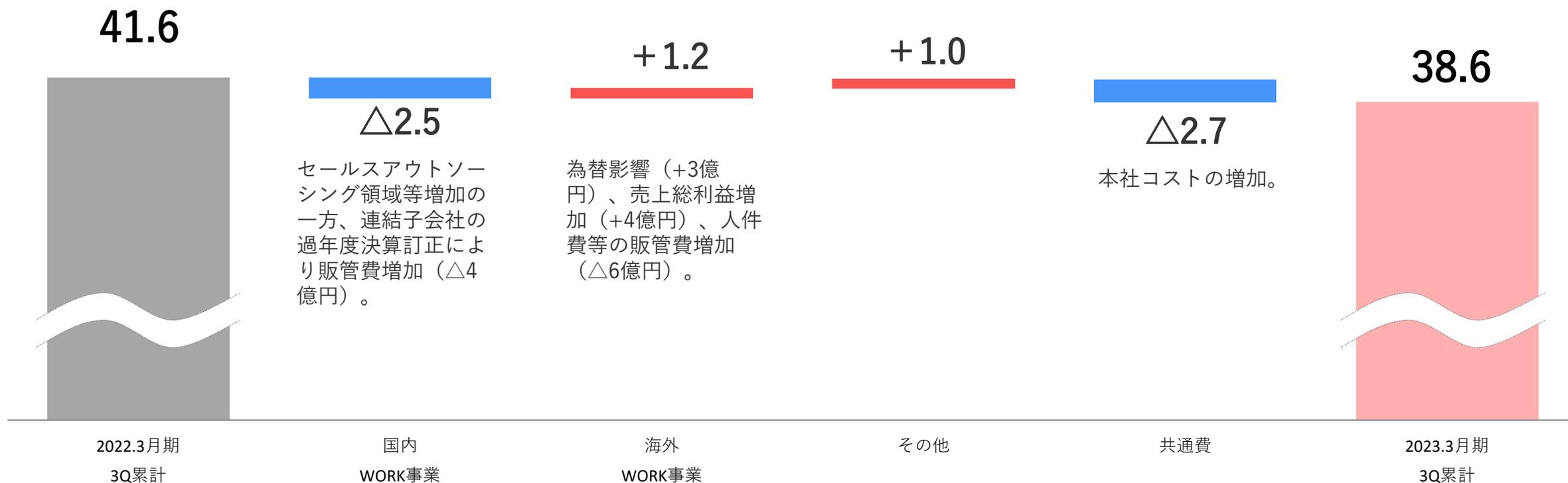
(億円)



# 2023年3月期 3Q累計 営業利益前年同期増減内訳

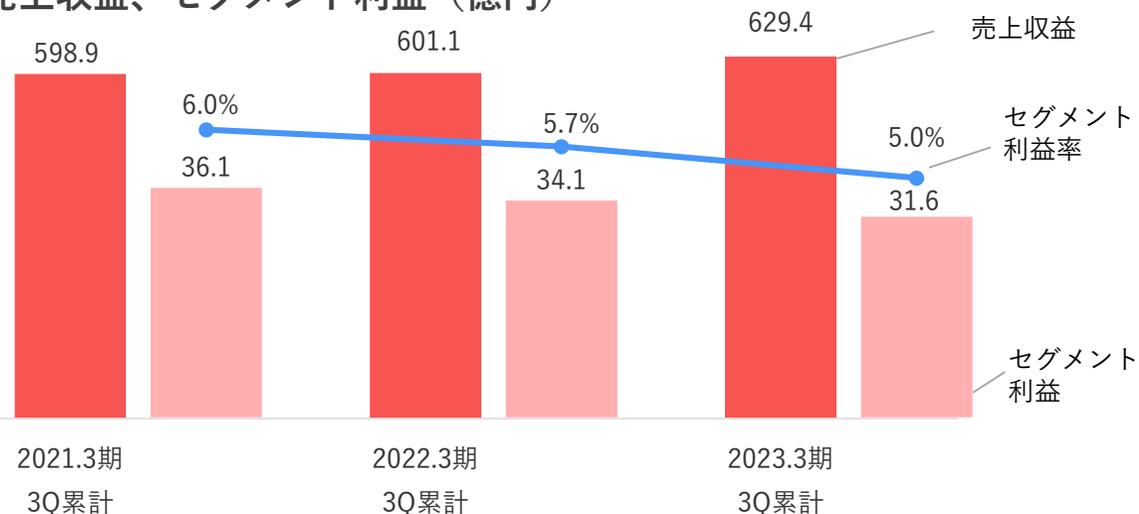
連結子会社の過年度決算訂正影響(販管費 + 4 億円)により、減益。

(億円)



# 国内WORK事業

-売上収益、セグメント利益（億円）-



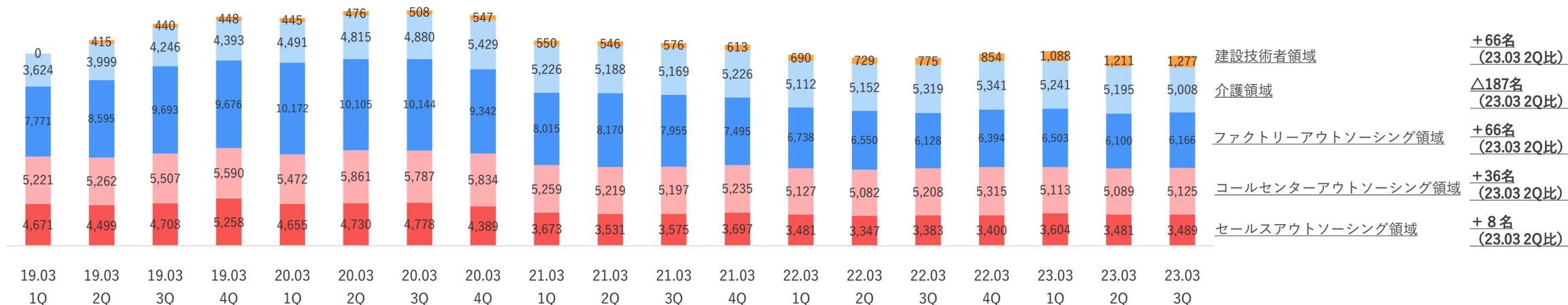
(億円)

	実績	前期	前期比
売上収益	629.4	601.1	+4.7%
セグメント利益	31.6	34.1	△7.4%

-トピックス-

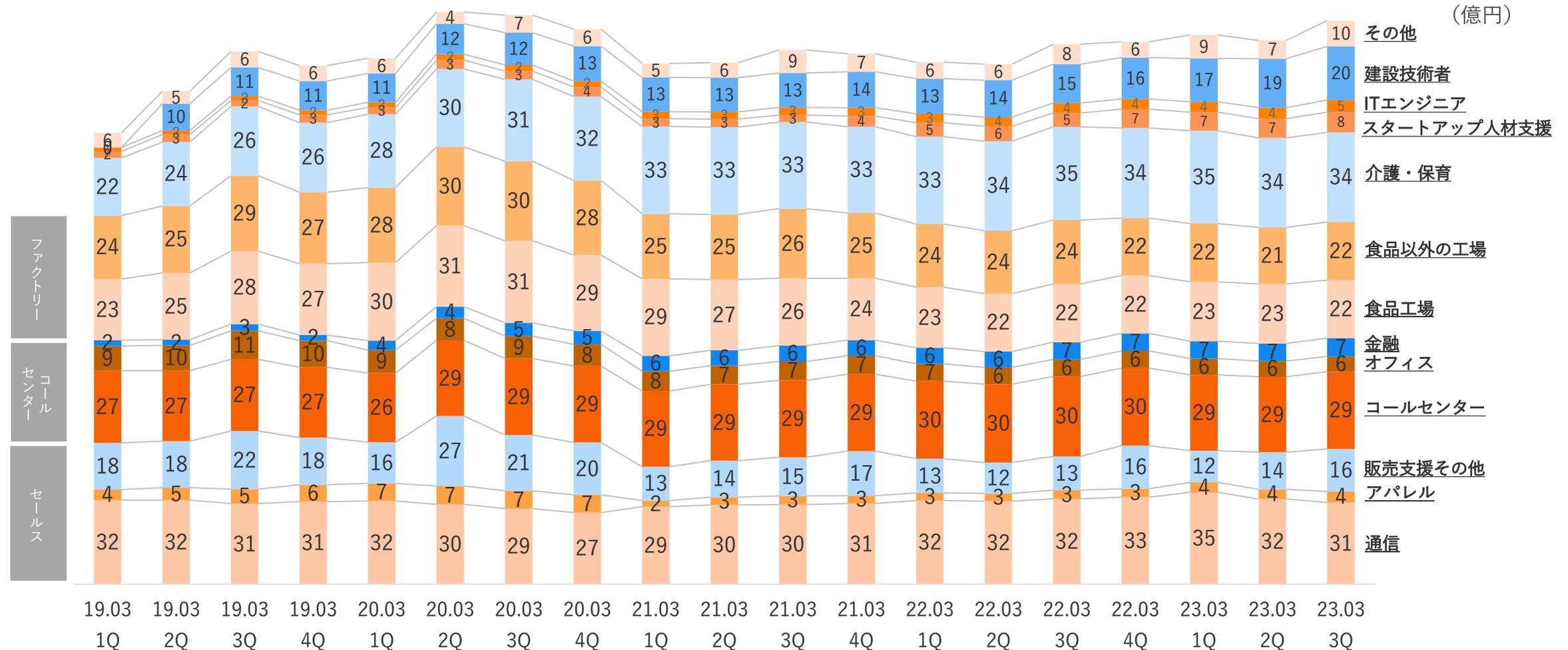
- 連結子会社の過年度決算訂正影響 (△4億円)
- 3Qの稼働スタッフ数は、2Qと比較して横ばい。
- 建設技術者領域 (4億円)、スタートアップ人材支援領域 (2億円) の先行投資を実施。

-稼働スタッフ数（人）-



# 国内WORK事業（分野別売上の内訳）

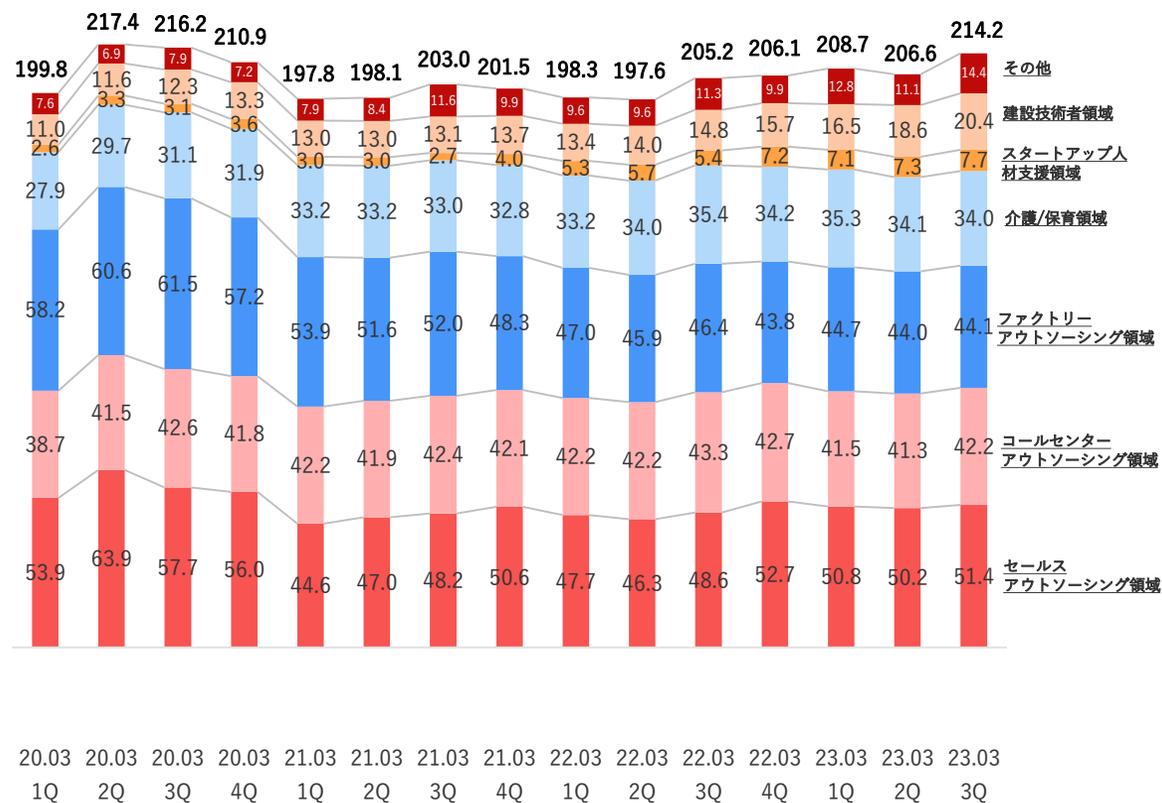
販売支援その他、スタートアップ人材支援、建設技術者領域が堅調に推移。



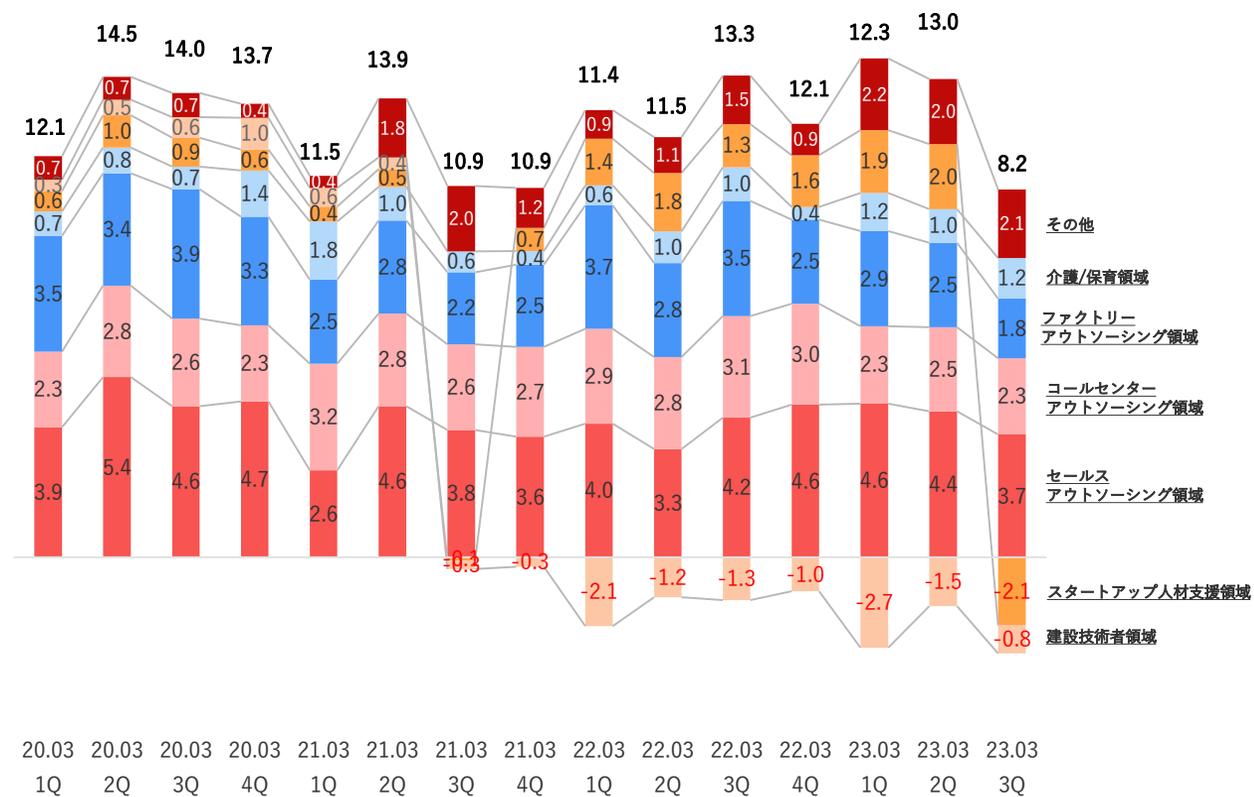
# 国内WORK事業（領域別売上高、営業利益）

建設技術者領域は、当年度は先行投資（人員増強、採用費投下）期間。  
3Qのスタートアップ人材領域は、過年度決算訂正の影響で赤字。

-領域別売上高（億円）-



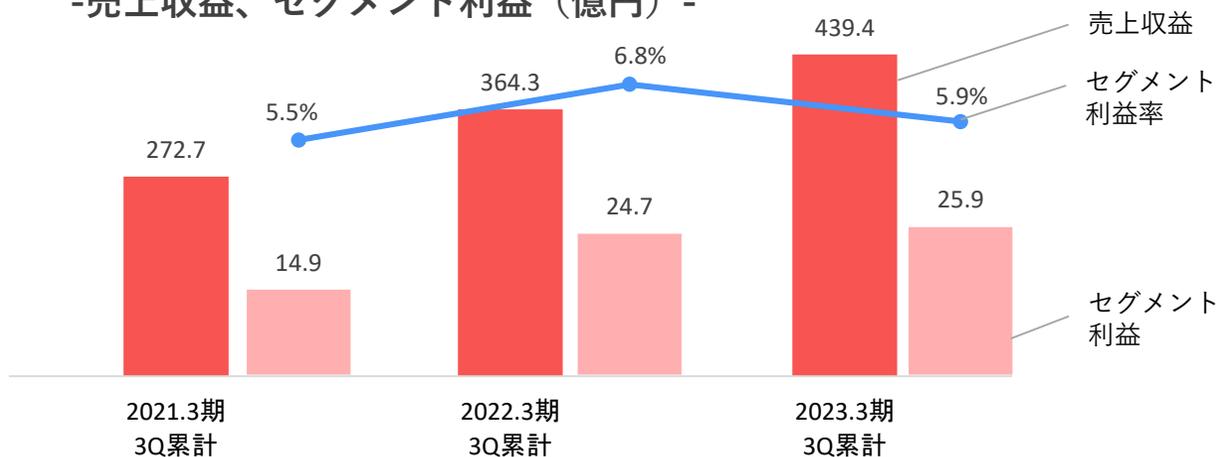
-領域別営業利益（億円）-



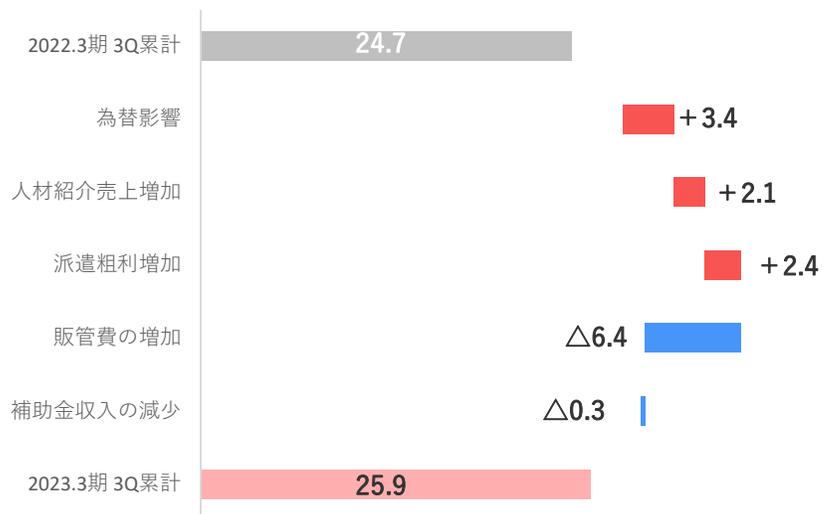
※セグメント内の連結調整は含んでいません。

# 海外WORK事業

-売上収益、セグメント利益（億円）-



-セグメント利益増減要因（億円）-



(億円)	実績	前期	前期比
売上収益	439.4	364.3	+20.6%
セグメント利益	25.9	24.7	+5.1%

-トピックス-

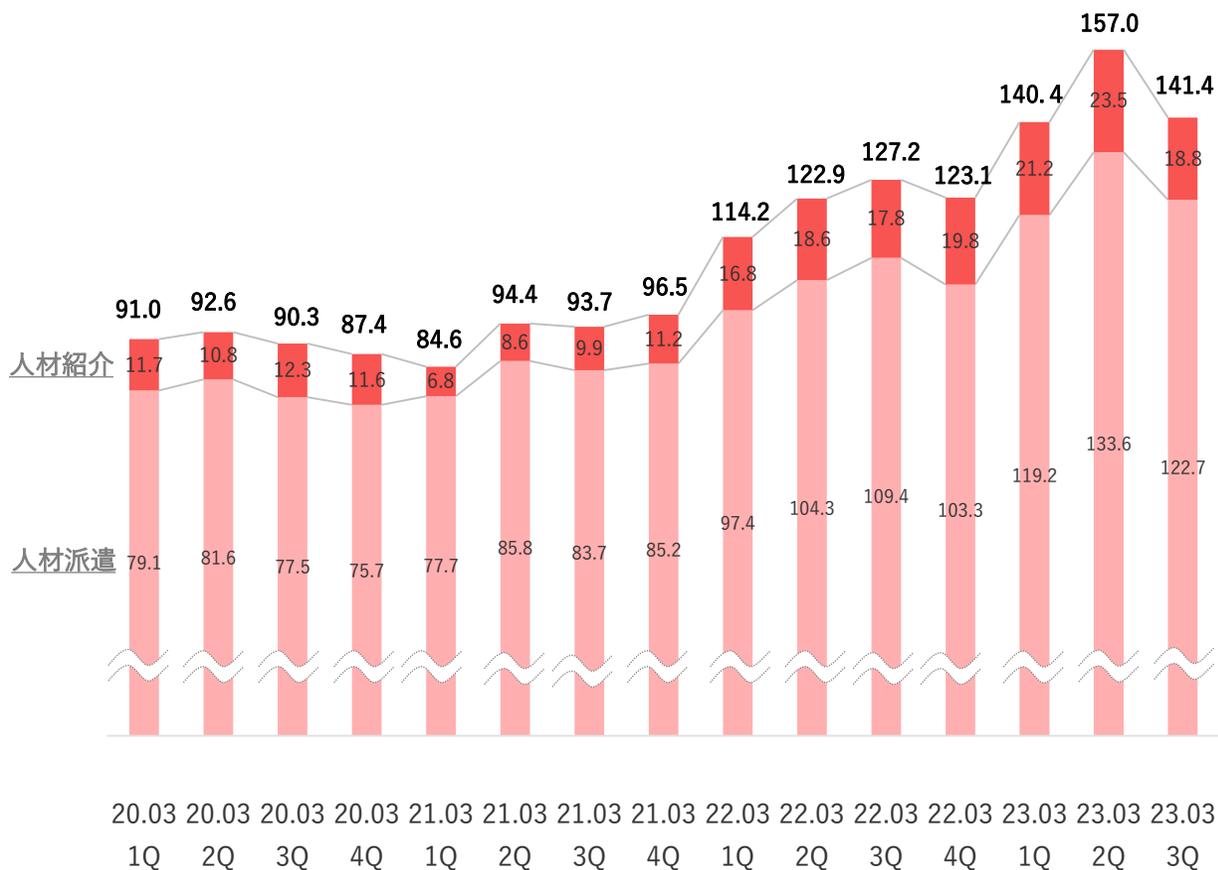
- コロナ後の急激な人材需要が、3Qで一巡。
- オーストラリアドル、シンガポールドルとも円安に推移。為替影響は、  
(前期比) 売上収益：+48億円、営業利益：+3.4億円

	計画 レート	3Q実績 レート	前年同期 レート	1円変動による影響額/年	
				売上収益	利益
オーストラリアドル	78円	93円	83円	4.6億円	0.3億円
シンガポールドル	79円	98円	82円	1.1億円	0.1億円

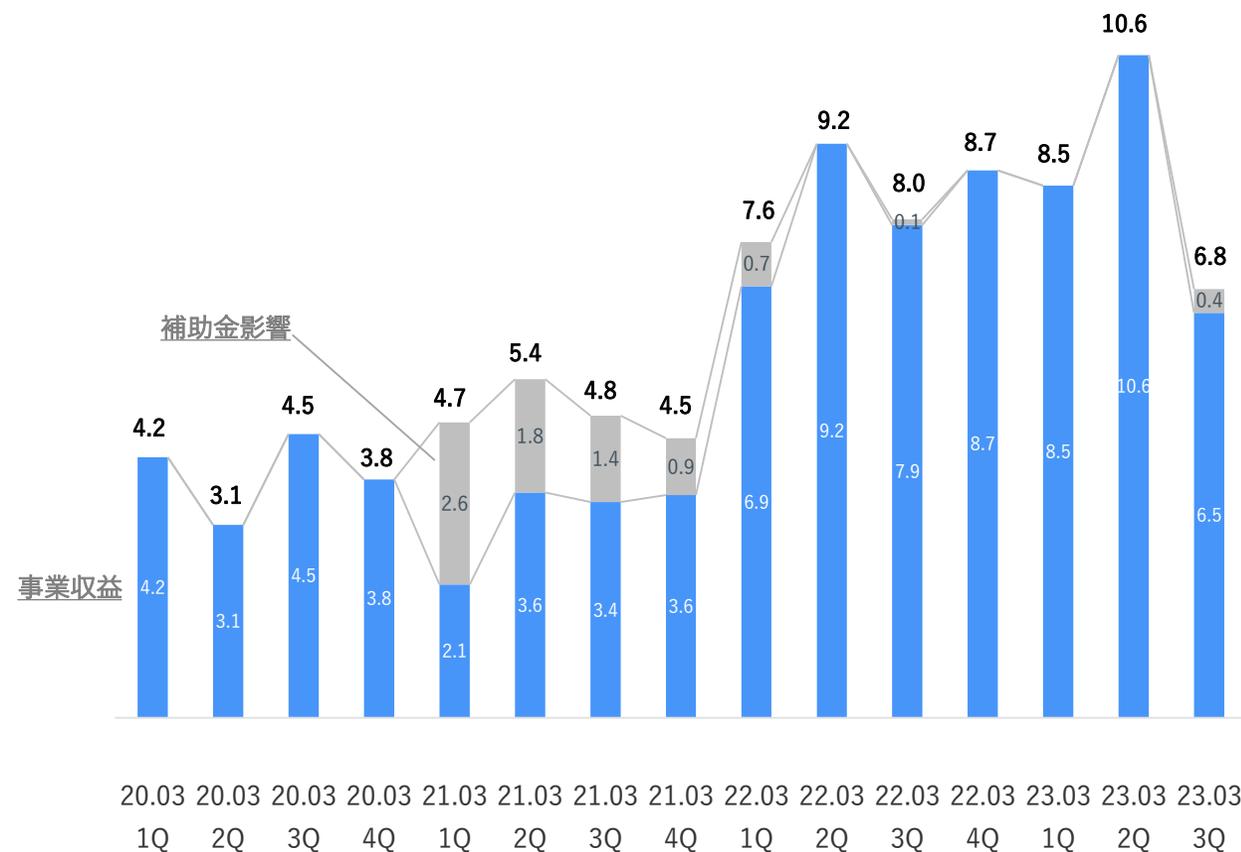
# 海外WORK事業（契約形態別売上高、営業利益推移）

2022年3月期1Q以降続いてきたコロナ後の急激な人材需要が、3Qで一巡。営業利益は、人材紹介売上が減少したことで、減少。

-契約形態別売上（億円）-



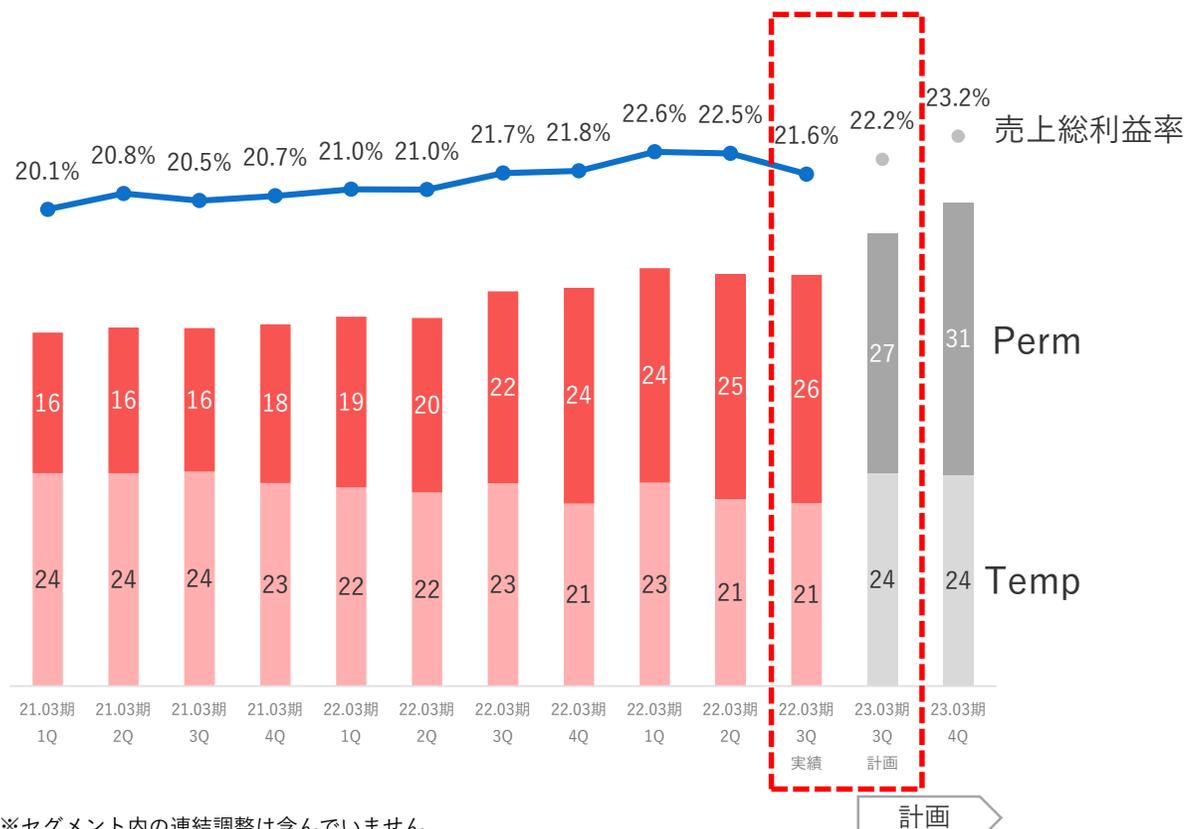
-営業利益（億円）-



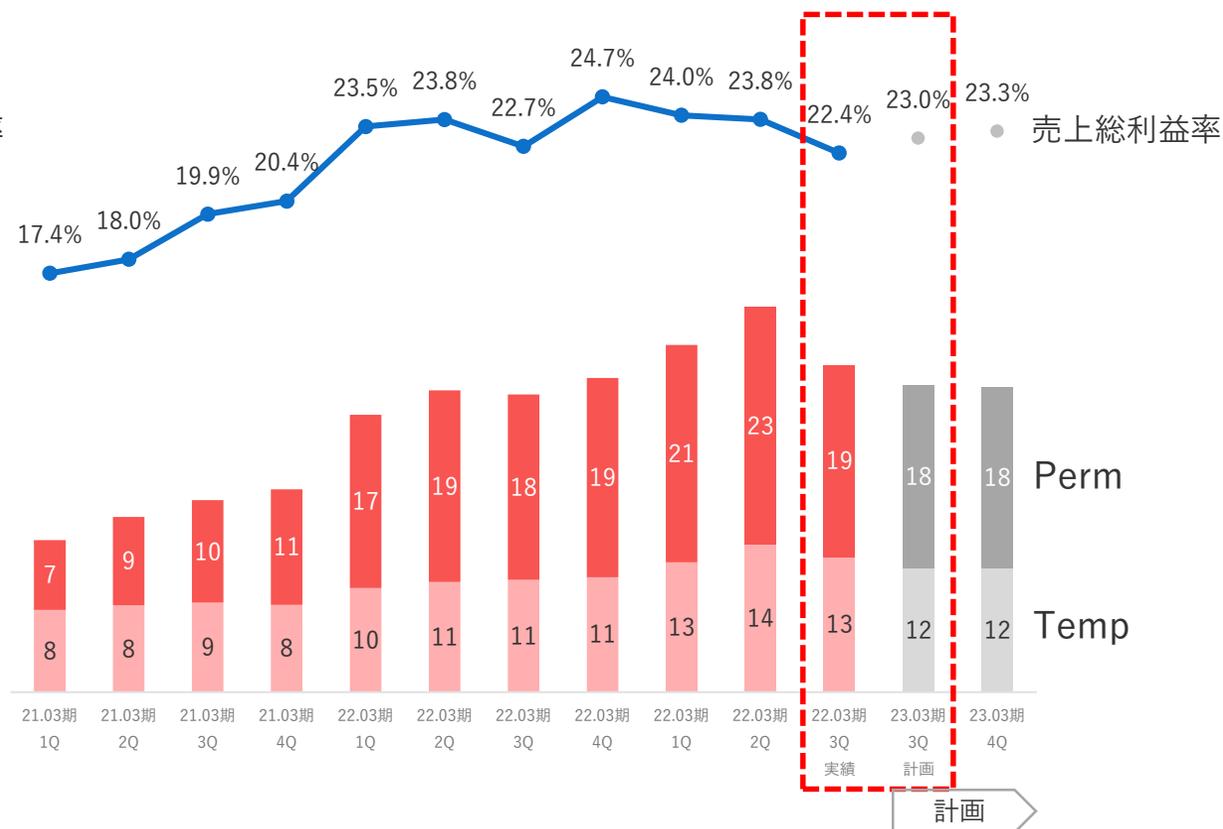
# (国内・海外) ポートフォリオシフト進捗

国内WORK事業は、Temp領域の売上総利益率が低下。  
 海外WORK事業は、Perm領域の減少により、売上総利益率は低下。

-国内WORK事業 Temp/Perm別売上総利益※ (億円) -



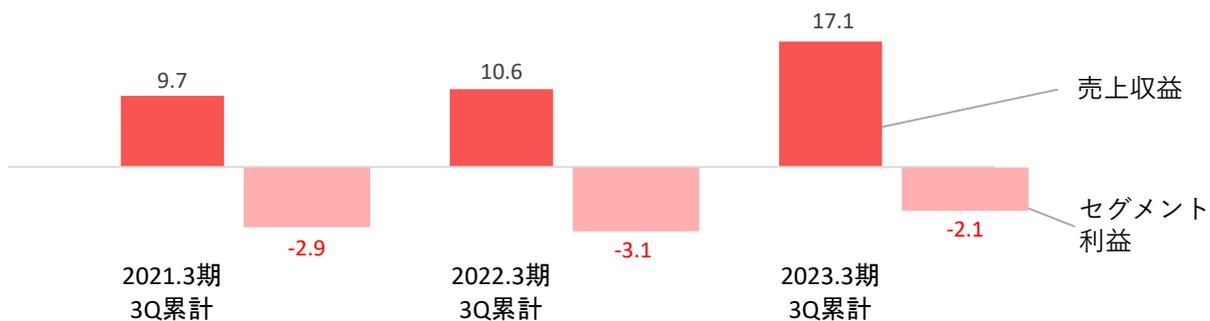
-海外WORK事業 Temp/Perm別売上総利益 (億円) -



※セグメント内の連結調整は含んでいません。  
 売上総利益、売上総利益率は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

# その他

## -売上収益、セグメント利益（億円）-



## -その他の事業内容-

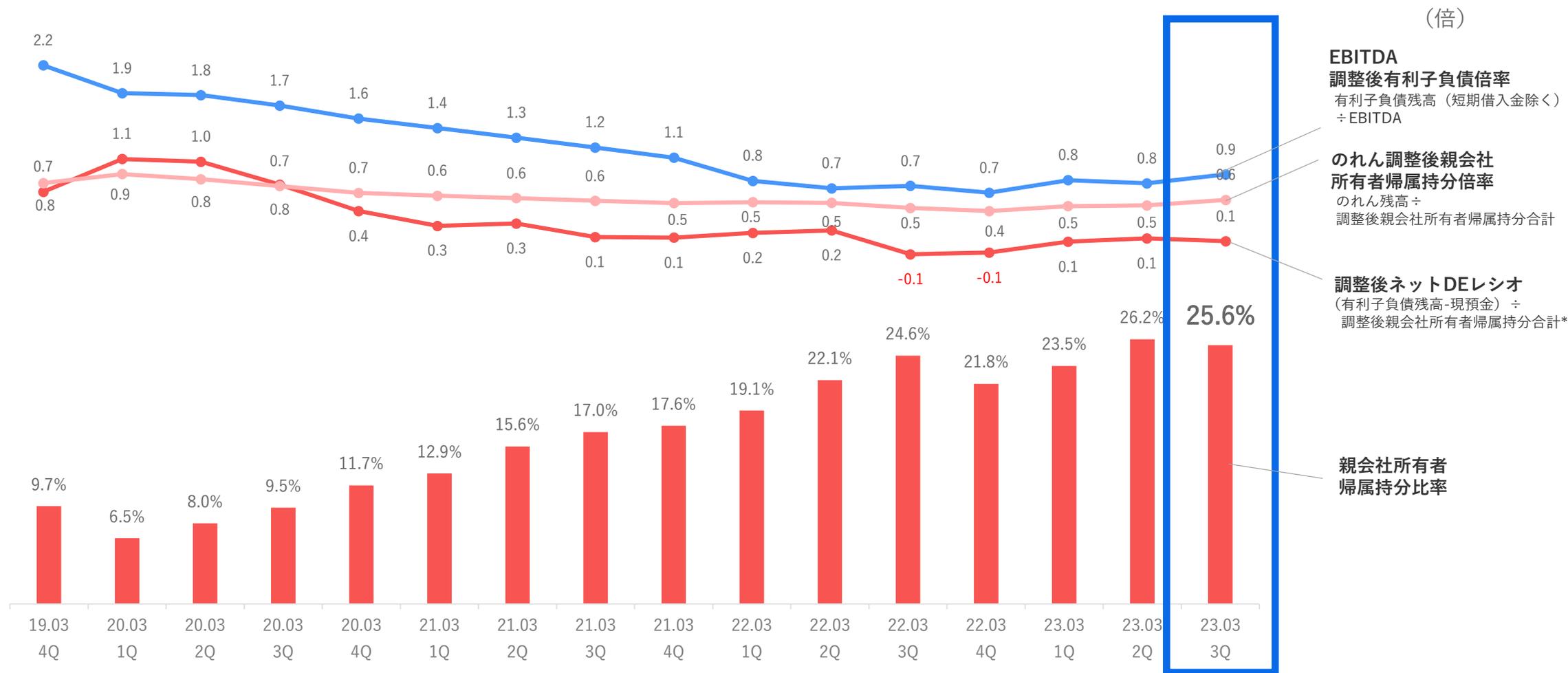


	実績	前期	前期比
(億円)			
売上収益	17.1	10.6	+61.9%
セグメント利益	△2.1	△3.1	-

## -トピックス-

➤探索領域（インバウンドサービス）への先行投資を継続実施。外国人労働者の入国は限定的な状況が続いているため、外国人労働者向けサービスを一部縮小したことから、販管費が減少。

親会社所有者帰属持分比率は、3Qで25.6%。中期経営計画目標：20%を上回って進捗。



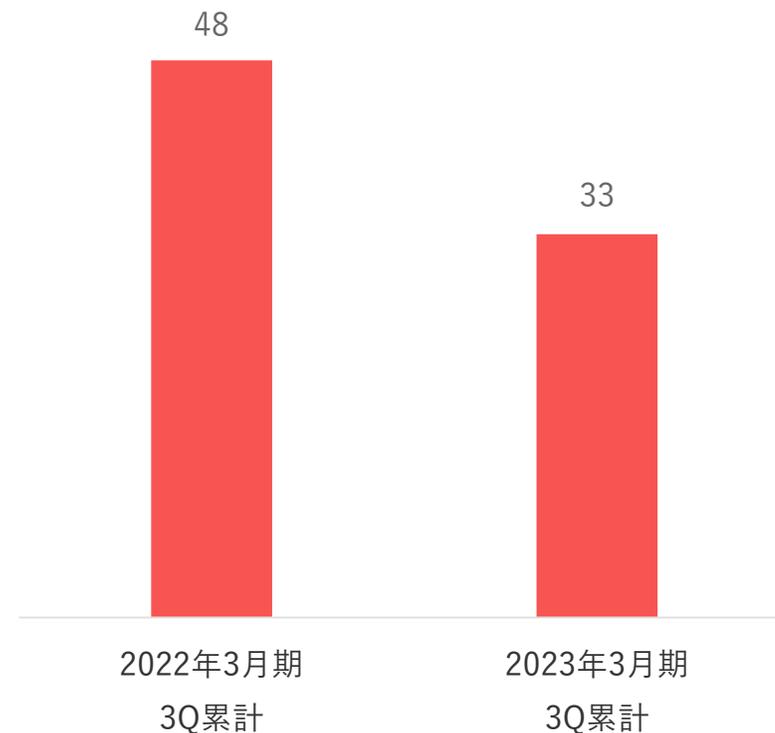
# 連結貸借対照表

(億円)	2022年 3月末	2022年 12月末	増減	主な増減要因
流動資産	272.8	270.8	△2.0	
うち現金及び現金同等物	89.7	86.9	△2.7	
うち営業債権及びその他の債権	174.5	170.1	△4.4	
非流動資産	250.6	259.4	+8.8	
うちのれん	65.1	77.6	+12.5	海外孫会社の新規連結による増加 (+11億円)
うちその他の無形資産	61.5	66.3	+4.7	
資産合計	523.5	530.2	+6.7	
流動負債	293.6	272.3	△21.2	
うち営業債務及びその他の債務	152.9	165.9	+13.0	
うち借入金	57.8	55.5	△2.2	
うちその他の金融負債	52.4	20.8	△31.6	株式追加取得によるプット・オプションの減少 (△37億円)
非流動負債	98.6	110.6	+11.9	
うち借入金	22.0	41.0	+19.0	借入 (+42億円)、返済 (△24億円)
うちその他の金融負債	62.8	56.1	△6.6	
負債合計	392.2	382.9	△9.3	
資本合計	131.2	147.3	+16.1	
うち親会社の所有者に帰属する持分合計	113.9	135.7	+21.8	親会社株主に帰属する四半期利益の計上 (+22億円)
負債及び資本合計	523.5	530.2	+6.7	
親会社所有者帰属持分比率	21.8%	25.6%	+3.8pt	

# 連結キャッシュ・フロー

(億円)	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計
税引前利益	41	37
減価償却費及び償却費	14	15
法人所得税の支払額	△9	△21
その他の営業活動	3	24
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>49</b>	<b>55</b>
有形固定資産等の取得及び売却	△4	△2
子会社株式の取得及び売却	0	△17
その他の投資活動	3	△1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△0</b>	<b>△21</b>
有利子負債の純増減	△34	7
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得及び売却	△10	△37
支払配当金	△5	△7
その他の財務活動	0	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△50</b>	<b>△38</b>
為替変動の影響額	0	2
現金及び現金同等物の増減額	△1	△2
現金及び現金同等物四半期末残高	73	86
<b>フリーキャッシュ・フロー（営業C/F+投資C/F）</b>	<b>48</b>	<b>33</b>

フリーキャッシュ・フロー推移 (億円)



## III.2023年3月期 通期業績予想、配当予想

# 2023年3月期 通期連結業績予想の修正

足元の業績動向を踏まえ、2023年3月期通期業績予想を修正しました。  
修正予想の4Qは、以下の前提にしています。

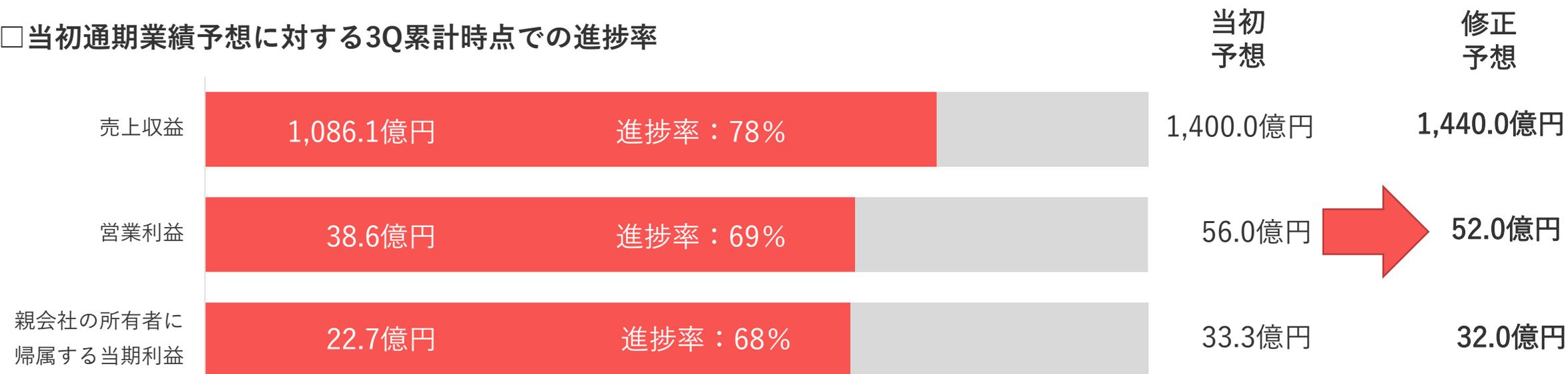
## ■売上収益

- ・国内WORK事業は、2022年10月以降新規案件獲得は徐々に進んでいるものの、想定より遅れ。
- ・海外WORK事業は、ポストコロナの急激な人材紹介需要は一巡するものの、人材派遣需要は堅調。

## ■営業利益

- ・国内WORK事業は、新規案件開拓の遅れによる売上収益の減少。
- ・海外WORK事業は、3Q水準で推移する見通し。

## □当初通期業績予想に対する3Q累計時点での進捗率



# 2023年3月期 通期連結業績予想の修正

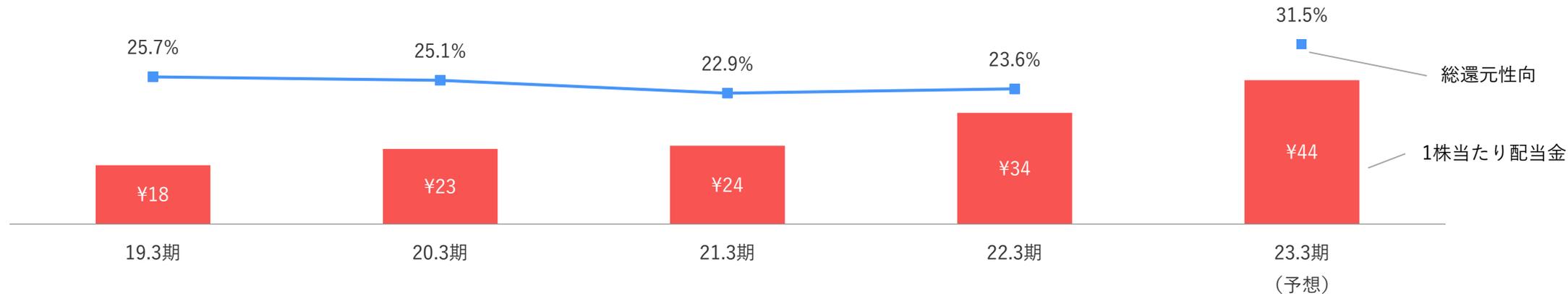
(億円)	前期実績	当初予想	2Q決算発表時点 見通し	修正予想	2Q決算発表時点見通し比	
					増減	増減率
売上収益	1,310.8	1,400.0	1,400.0	1,440.0	+40.0	+2.9%
うち国内WORK事業	807.2	889.8	848.5	838.7	△9.8	△1.2%
うち海外WORK事業	487.4	490.3	527.8	577.7	+49.9	+9.5%
うちその他	16.0	19.8	23.5	23.6	+0.1	+0.4%
売上総利益率	21.9%	22.6%	22.7%	22.2%	△0.5pt	-
営業利益	54.7	56.0	56.0	52.0	△4.0	△7.1%
(営業利益率)	4.2%	4.0%	4.0%	3.6%	△0.4pt	-
うち国内WORK事業	44.4	56.9	44.4	40.3	△4.0	△9.2%
うち海外WORK事業	33.4	25.8	36.3	32.1	△4.1	△11.4%
うちその他	△3.4	△1.9	△1.9	0.5	+2.3	-
うち調整額	△19.8	△24.8	△22.7	△20.9	+1.7	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	32.8	33.3	33.3	32.0	△1.3	△3.9%
EBITDA	75.5	76.7	76.7	72.4	△4.3	△5.6%
為替レート	前期実績	当初予想	2Q決算発表時点に おける見通し	今回修正予想	1円変動による影響額/年	
					売上収益	利益
オーストラリアドル	83円	78円	93円	93円	4.6億円	0.3億円
シンガポールドル	83円	79円	96円	98円	1.1億円	0.1億円

# 2023年3月期 配当予想

株主還元方針は、期首業績予想に対する総還元性向:30%としているため、配当予想は修正なし。

	2022.3月期	2023.3月期 配当予想
期末配当	34円/株	44円/株
総還元性向	23.6%	31.5%

## ■1株当たり配当金、総還元性向の推移



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ 財務部IRグループ

TEL : 03-6859-8880

Mail : ir@willgroup.co.jp

■ 「IRメール配信サービス」のご案内

当社では、IRに関するメール配信を行っています。適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、ぜひご登録ください。

IRメール配信登録▶



# Appendix

# 海外（豪州、シンガポール）のマクロ環境



## 当社のビジネス環境

豪州、シンガポールとも求人件数は、足元減少しており、業種別では、ITや金融等が減少しています。

安定した領域で展開している人材派遣は、堅調に推移している一方で、人材紹介は、ポストコロナの急激な人材需要が3Qで一巡しました。景気後退が懸念される中で、足元では顧客の需要減少は見受けられませんが、先行きには、注視が必要です。



## 関連経済指標

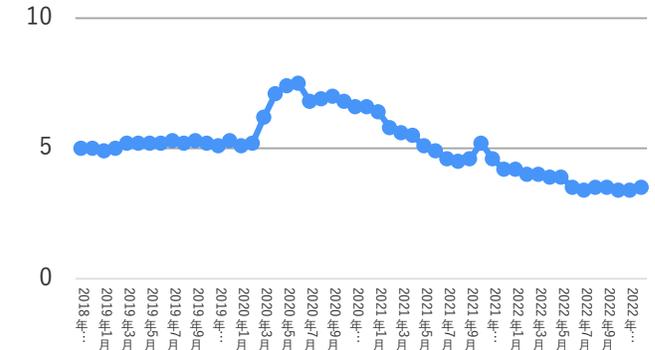
### ■ 求人件数

\*出典：豪州統計局



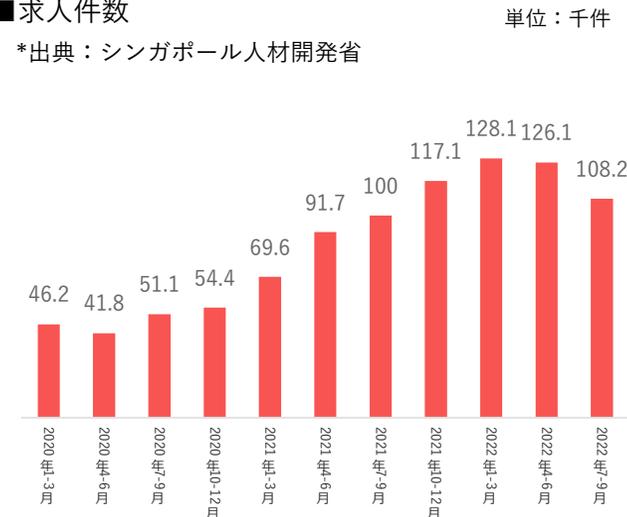
### ■ 完全失業率

\*出典：豪州統計局



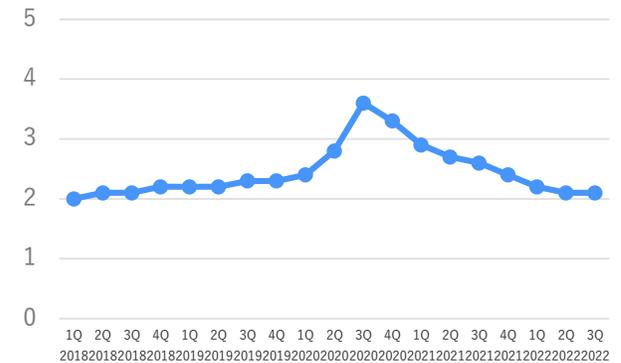
### ■ 求人件数

\*出典：シンガポール人材開発省



### ■ 完全失業率

\*出典：シンガポール統計局



# 減損リスクについて

現時点で全ての会社は、減損リスクはない見通し。ウィルオブ・コンストラクションは、将来の利益拡大に向けて2023年3期までは先行投資期間。

(億円)

	主要拠点	事業内容	連結開始 (持分割合)	投資残高 *1	*2	2022.3期 3Q累計	2023.3期 3Q累計	前年同期比
	首都圏、東北	東北地方を中心に建設技術者派遣・紹介を展開。経験・スキルの高い施工管理技士が多数在籍しており、特に建築土木の大型工事の技術者派遣において優位性を持つ。	2018/6 (100%)	25.2	売上	42.1	55.5	+31.7%
					利益	△4.5	△5.0	-
	シンガポール	シンガポールを中心に、香港、日本、米国、中国、オーストラリア及び英国の各国の完全子会社を通じて、HR領域に特化した人材紹介、コンサルティング事業を展開。	2019/1 (100%)	27.0	売上	17.8	16.1	△9.1%
					利益	7.0	4.9	△30.5%
	ブリスベン	オーストラリアにおいて、政府機関及び大手企業に対して人材紹介及び人材派遣を展開。	2019/4 (100%)	43.2	売上	85.0	89.2	+4.9%
					利益	12.0	9.1	△24.5%
	メルボルン	オーストラリアにおいて、政府機関、通信企業、エネルギー企業、電化製品製造業等、様々な業界の機関・企業に対し、事務職、コールセンター関連職の人材紹介及び人材派遣を展開。	2018/1 (100%)	15.6	売上	120.3	135.4	+12.5%
					利益	3.0	5.3	+75.4%

4 社合計投資残高 : 111億円  
連結投資残高 : 129億円

\*1 投資残高は、のれん残高と識別可能な無形資産残高の合計です。

\*2 連結開示時期を問わず、売上、利益の実績については連結会計期間の4月-12月の実績を記しています。

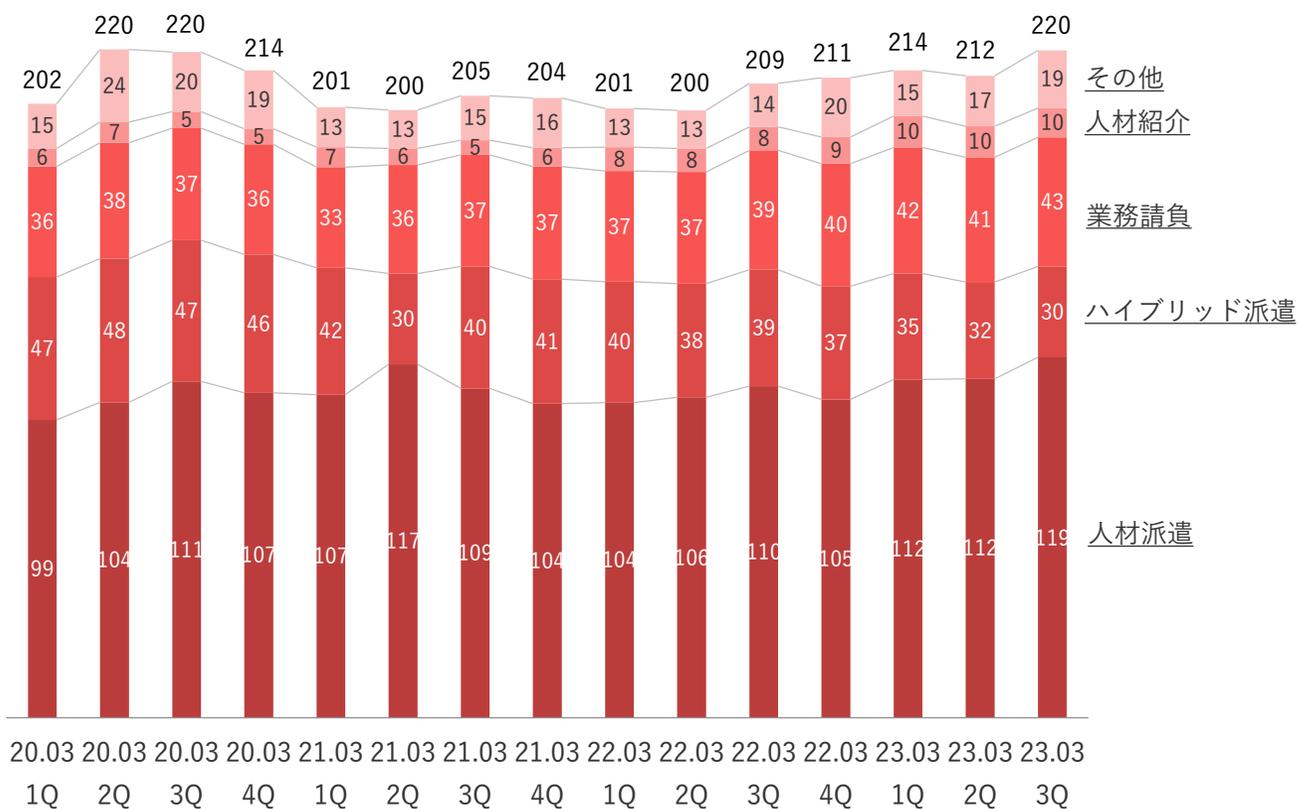
また、為替影響を除くため、1シンガポールドル=98円、1オーストラリアドル=93円で換算しています。

\*3 利益については、識別可能な無形資産の償却額、内部取引、一時的に発生した費用を除いた税引前利益です。

# 地域別 契約形態別 売上収益

## 国内

(億円)



## 海外

